

令和5年度 学校だより 1月号 1月9日発行

横浜市中区山元町3-152
電話 641-4857



やまもと

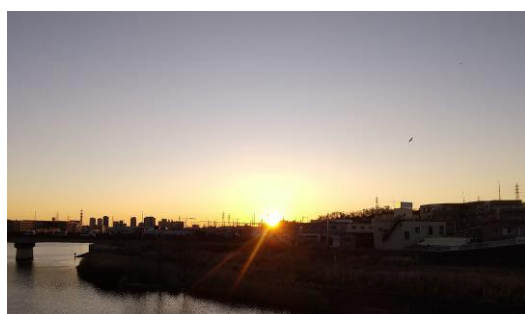
横浜市立山元小学校
校長 前島 潤

自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子

つながっています

学校長 前島 潤

今年、鶴見川の橋の上から初日の出を見ました。凜と気が引き締まる澄んだ空気の中、空が赤く染まっていく様子は、神々しく、厳かな気持ちになりました。全校の子どもたちと一緒に見たいと思う素晴らしい風景でした。



能登半島一帯の震災に心を痛めた正月でもありました。被災された方々が安心できますよう、早期の復興を願うばかりです。

山元小の子どもたちに人気のある昆虫ベスト3に入ると思われるカマキリのお話です。昨年11月末、朝の登校時に男の子が大事そうにプラケースを持っていました。中にはオオカマキリが一匹。そして小さなお皿に何か入っています。近付いて見てみるとシーチキンです。「餌なの。」と聞くと、「うん、ちゃんと食べるよ。」と教えてくれました。常識では、カマキリが食べるものは生きた昆虫です。動いている昆虫を目で確認して、素早く前足の鎌で捉えて食べます。だから、飼育時にも生きた昆虫を与えます。それがシーチキンを食べるなんて。驚きの情報でした。

常識にとらわれない、知的好奇心から生まれる子どもの発想は本当に素晴らしいなと思います。令和6年も、子どもの思い、願い、そして発想を大切にしたい学びをつくる学校であり続けていきます。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしく申し上げます。

さて、本題の「つながり」についてです。子どもたちの学びの中で、うれしい「つながり」がありましたのでお伝えいたします。

○竹之丸保育園との交流

今年度の初めから、2年生と1年生が、竹之丸保育園のらいおん組さん（年長さん）と交流しています。お互い、顔と名前が分かる関係にまで交流は深まっています。農園には、らいおん組さんのための畑もあり、毎日お世話ができないらいおん組さんに代わって、1年生が水やりなどを行いました。収穫した野菜は、園の給食の食材となりました。



○みのちゃん・さわちゃんデー（健康体操披露・ゲームコーナー運営）

12月2日に行われた麓沢地域ケアプラザのイベントに、4年1組と3・4組の児童が参加しました。4年生は、地域の方々の健康のために考えた健康体操を発表しました。椅子に座ってもできるように工夫されています。会場にお見えになった地域の方々と一緒に体を動かすことで、心もつながりました。3・4組は、射的と玉入れのゲームを準備し、保護者の方々と一緒に運営しました。リピーターもでる人気のゲームコーナーとなりました。



○森林公園キャンドルイベント

2年2組は、今まで学習などでお世話になった「まちのひと」への感謝の思いを込めた「水中アート」を作りました。ガラス瓶にイラストを描いたプラバンやビーズを入れ、水を注いだきれいなオブジェです。その「水中アート」を12月10日に行われた根岸森林公園のキャンドルイベントで、キャンドルと一緒に設置させていただきました。キャンドルの炎に照らされた「水中アート」は、2年2組の子どもたちの笑顔とともに美しく輝いていました。

